

---

英治出版メールマガジン 2016年3月14日

■新刊『3.11 震災は日本を変えたのか』発売&読者モニター募集のご案内■

---

読者の皆様こんにちは。東日本大震災から5年が経ちました。今回は、震災が日本の政治社会にもたらした影響を論じた『3.11 震災は日本を変えたのか』のご案内です。ぜひモニターにご応募ください。

※このメールは当社の社員が名刺交換をさせていただいた方、および配信にご同意いただいた方へお送りしております。今後の配信をご希望されない方は、大変お手数ですが、末尾記載の URL からお手続きをお願いいたします。

---

◆ニュース◆

◎『3.11 震災は日本を変えたのか』、丸善丸の内本店のノンフィクション週間ランキングで第9位になりました！

<http://www.eijipress.co.jp/blog/2016/03/14/22959/>

◎震災から5年、改めてこれからの私たちのあり方を考えるきっかけになる本を、弊社ブログで営業スタッフが3回にわたって紹介しました。

<http://www.eijipress.co.jp/blog/2016/03/08/22843/>

<http://www.eijipress.co.jp/blog/2016/03/09/22839/>

<http://www.eijipress.co.jp/blog/2016/03/10/22841/>

---

◆新刊のご案内◆

●『3.11 震災は日本を変えたのか』

リチャード・J・サミュエルズ著 プレシ南日子、廣内かおり、藤井良江訳

<http://www.eijipress.co.jp/book/book.php?epcode=2196>

【だれもが「変化」を叫んだ。そして何が変わったのか——。】

2011年3月11日、東日本大震災。

20年にわたる社会的・経済的停滞のなかで起こった震災は、

計り知れない悲しみと衝撃と同時に、

日本が自らを見つめ直すきっかけをもたらした。

改革論者は悲劇の内に希望を見出した。危機は再生の機会と言われた。

政治家もメディアも経済界も「変化」を叫んだ。

それは国民の関心とアイデンティティを牽引しようという野心に満ちた、事態の解釈をめぐる複数のナラティブ（物語）の闘いでもあった。——

本書はこの大震災が日本に与えた影響について

米国屈指の知日派が探求した著作である。

現地調査とインタビュー、文献研究をもとに著者は、  
国家安全保障、エネルギー、地方自治という三つの切り口から  
震災後の政治の深層に迫る。

あの時、何が語られ、何が変わったのか。  
何を教訓とし、これからどこに向かうのか——。  
圧倒的な情報量、明瞭な枠組み、歴史検証と国際比較を手がかりに、  
包括的視座で3.11のインパクトを解き明かす。

[目次]

序文

第1章 過去の状況と三・一一

第2章 危機を無駄にしてはならない

第3章 災害の歴史的・比較的考察

第4章 安全保障をめぐる競合するナラティブ

第5章 エネルギー政策の議論

第6章 地方自治体の再活用

定価：本体 2,800 円＋税 四六判ハードカバー 本文 432 ページ  
ISBN13:978-4-86276-196-5 2016 年 3 月 8 日発売

---

[著者]

リチャード・J・サミュエルズ Richard J. Samuels

マサチューセッツ工科大学 (MIT) 政治学部フォードインターナショナル  
教授、MIT 国際研究センター所長、MIT 日本研究プログラム創設者。

専門は日本の政治、安全保障。1992～95 年 MIT 政治学部長、2001～08 年  
日米友好基金理事長を務めた。日米の相互理解と文化交流への寄与により  
旭日重光章を受章している。

著書『富国強兵の遺産——技術戦略にみる日本の総合安全保障』(1997 年)で  
日本に関する優れた英語文献に贈られるジョン・ホイットニー・ホール・  
ブック賞および有沢広巳記念賞を受賞。また『日本における国家と企業——  
エネルギー産業の歴史と国際比較』(1999 年)で大平正芳記念賞を、『マキア  
ヴェッリの子どもたち——日伊の政治指導者は何を成し遂げ、何を残したか』  
(2007 年)で米国政治学会エルビス・シュローダー賞を受賞した。他の著書に  
『日本防衛の大戦略—富国強兵からゴルディロックス・コンセンサスまで』  
(2009 年)などがある。

---

◆読者モニターの募集◆

『3.11 震災は日本を変えたのか』の読者モニターを募集いたします！  
レビューを書いてくださる人には本書を無料で贈呈！（抽選で5名様）

▽ご応募はこちらから（英治出版オンラインストア内）

<http://www.eijipress.co.jp/store/monitor.php>

[応募方法]

英治出版オンラインストアで会員ログイン後、対象書籍を選択し、通常の購入時と同様に、カートに入れて「購入」手続を行ってください。

※応募対象書籍の販売価格は0円として表示されます。

0円でのご購入をもって応募手続となります。

※決済方法は「銀行振込」をご指定ください。

[応募締切]

2016年3月17日(木) 23時59分

[抽選結果]

応募締切の翌営業日に厳正な抽選を行い、当選者の方にメールにて結果をお知らせします。

[Amazon カスタマーレビュー掲載・連絡]

当選された方には商品をお送りいたします。商品到着後、2週間以内に

Amazon.co.jpの書籍ページ (<http://www.amazon.co.jp/dp/4862761968>) に

「カスタマーレビュー(書評)」を投稿してください。レビューの末尾には、任意のレビュー内容であることを示す文言を追記ください。

(例:「私は英治出版の読者モニタープログラムにより無料で書籍を受け取りました。良い評価を書くよう促されてはならず、レビューはあくまでも個人としての見解です。」)

投稿後、お名前とレビューの内容を弊社までメールでお知らせください。

[注意事項]

※当選は先着順ではございません。

※同時に複数商品のモニターにご応募いただくことはできません。

※過去にモニターとして選ばれた方もご応募いただけますが、カスタマーレビュー未掲載の場合、抽選対象から除外させていただきます。

※抽選結果についてのお問い合わせにはお答えできません。

※Amazon.co.jpにレビューを投稿するには、一度でもAmazon.co.jpで商品を購入する必要があります。本モニター募集ではレビューを投稿できる方を対象としておりますので、いま一度のご確認をお願いいたします。

※お寄せいただいたレビューの文面は匿名にて広告等に使用させていただく場合がございます。予めご了承ください。

---

編集長の高野です。東日本大震災から5年。今回ご紹介した新刊は、外国人研究者が震災のインパクトを分析した数少ない著作だと思います。震災直後の政治状況を扱っていますが、関東大震災や阪神淡路大震災など過去の震災、四川大地震など海外の災害事例も踏まえた考察は示唆深く、改めて震災後の

日本を考えるうえで良い手掛かりとなるでしょう。

先日、震災で大きな被害を受けた宮城県石巻市雄勝で活動する非営利組織が主催した出張レストランに同僚と行き、カキやホタテ、銀鮭などの海の幸を味わってきました。支援も兼ねて、などというつもりで行ったのですがその美味しさに感動しました。その後、5年目だからと口実をつけて妻の同意を得、通販サイトでお取り寄せ。実家にも贈りました。支援という理由づけは要らないほど美味しいのですが、きっかけにはなりますね。

被災した地域の着実な復興・発展をお祈りいたします。

なお上記の通販サイトはこちらです。ご参考まで。

「雄勝そだての住人」<http://ogatsusodateno.jp/>